

## ネイティブ シゾフィルム コミューネ コレステロールエステラーゼ

Cat. No. DIA-133

Lot. No. (See product label)

## はじめに

**□明** ステロ―ルエステラ―ゼは、加水分解酵素のファミリ―に属し、特にカルボン酸エステル結合

に作用するものです。この酵素クラスの系統名はステリルエステルアシルヒドロラ―ゼです。

この酵素は胆汁酸の生合成に関与しています。

**用途** この酵素は、臨床分析においてコレステロ―ルオキシダーゼと結合することで、総コレステ

ロールの酵素的測定に役立ちます。

別名 コレステロールエステラーゼ; コレステリルエステル合成酵素; トリテルペノールエステラー

ゼ; コレステリルエステラーゼ; コレステリルエステル加水分解酵素; ステロールエステル加水分解酵素; コレステロールエステル加水分解酵素; コレステラーゼ; アシルコレステロールリ

パーゼ; EC 3.1.1.13; ステロールエステラーゼ

## 製品情報

*由来* シュチゾフィルム・コミューネ

**外**□ 淡褐色の非晶質粉末、凍結乾燥された

**EC**番号 EC 3.1.1.13

**CAS**登□番号 9026-00-0

*分子量* 約130 kDa

**活性** グレード**Ⅲ 2.0 U/mg**-固体以上(安定剤約**20%**を含む)

等電点 4.1±0.1

**pH**安定性 pH 2.5-7.5 (25°C, 20時間)

**最適pH** 4.8-8.0(コレステロールリノレート)、5.0(血清)

*熱安定性* 55°C未□ (pH 5.5、10分)

*最適温度* 55-60°C

*ミカエリス定数* 3.9×10<sup>-5</sup>M(リノレート)、9.2×10<sup>-5</sup>M(パルミテート)、6.3×10<sup>-5</sup>M(デシレート)、

8.8×10<sup>-5</sup>M(プロピオン酸塩)

**阻害剤** 重金属イオン (Hg++, Ag+, Fe+++)

**安定化剤** ナチョレート

## 保管・発送情報

*安定性* -20°Cで保管してください